

カリフォルニア州、高等教育への投資を怠ったために入学資格を備えた州在住出願者が
州立大学に進学できない状況に（11月30日）

高等教育問題に取り組む非営利組織のキャンペーン・フォー・カレッジ・オポチュニティ（The Campaign for College Opportunity）は11月30日、カリフォルニア州民の公立大学進学機会に見られる問題に関する報告書「入学拒否 ～カリフォルニア州の公立大学における選択性拡大～（Access Denied: Rising Selectivity at California's Public Universities）」を発表した。これによると、カリフォルニア州政府が高等教育に対して必要な投資を怠ったために、カリフォルニア大学（University of California : UC）及びカリフォルニア州立大学（California State University : CSU）の規模が大学進学を希望する学生数の増加に伴わず、入学資格を備えた出願者の多くを不合格にせざるを得ない状況であることが明らかになった。同報告書が提示する主要な調査結果は以下の通り。

- UC 及び CSU に出願するカリフォルニア州在住学生数と合格者数の差は、1996年から2013年までに2倍に拡大。
- UC に合格するには、ほぼ完璧な高校の成績と SAT または ACT 試験で満点に近い得点が必要。また、UC システムの大学9校中6校の新入生の成績平均点（GPA）は平均4.0ポイント。
- CSU システムの大学23校中6校では、全専攻分野において、入学資格を備えた出願者数が入学可能な学生数を上回ったため、合格基準を大幅に引き上げ。
- 2009年～2014年の間に、CSU では入学資格を備えた出願者13万9,697人が不合格。
- 高校卒業者が4年制大学に入学する割合の州別順位において、カリフォルニア州は50州中49位。

なお、本報告書は、

<http://collegecampaign.org/wp-content/uploads/2015/05/2015-Access-Denied_Full-Report_FINAL.pdf>からダウンロード可能。

EdSource, *Report: California's failure to invest in public universities has hurt access*

<http://edsources.org/2015/report-californias-failure-to-invest-in-public-universities-has-hurt-access/91215>